

	琉球大学 学際分野
学部等の教育研究 組織の名称	観光産業科学部（第1年次：120名） 【夜間主】（第1年次：20名、第3年次：4名） 観光科学研究科（M：6名） 人文社会科学研究科（M：45名、D：4名）
沿 革	昭和25（1950）年 琉球大学設置 平成7（1995）年 人文社会科学研究科設置 平成17（2005）年 法文学部観光科学科設置 平成19（2007）年 法文学部産業経営学科設置 平成20（2008）年 法文学部観光科学科及び産業経営学科を改組し観光産業科学部設置 平成21（2009）年 観光科学研究科設置
設置目的等	平成7（1995）年に、より高度の学際的・実践的な人文社会科学の教育研究に取り組むことを目的として、人文社会科学研究科が設置された。 平成20（2008）年に、国際社会を舞台に、観光産業と地域産業の振興に貢献できる実践型の人材を育成することを目的として、法文学部観光科学科及び産業経営学科を改組し、観光産業科学部を設置した。 平成21（2009）年に、観光科学の立場に基づき、持続可能な観光振興・観光開発を主導するリーダーシップと専門性を兼備した人材を育成することを目的として、観光科学研究科を設置した。
強みや特色、 社会的な役割	【総論】 琉球大学における学際分野においては、「真理の探究」「地域・国際社会への貢献」「平和・共生の追求」の基本理念の下で、真理の探究を図るとともに、島嶼（とうしょ）県に位置する総合大学として、沖縄県を中心とした地域の課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。 引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。 【教育】 (学部) ○ 観光学・経営学の学問分野の教育研究を通じて、観光・経営の基本的な知識を備え、感性、問題発見・予測、分析・解決力、行動力、論理的

表現力を有し、多様化・複雑化した継続的組織体のマネジメント能力を身につけた人材を養成する。

- このため、企業が抱える諸課題を発見し、その解決策を提案するキャリア開発演習を通じて判断力・構想力の向上に取り組むとともに、エコツーリズム論などの現場体験型のフィールドワーク教育を推進している。
- 今後、琉球大学グローバルシティズン・カリキュラム（URGCC）による学習教育目標の到達状況を評価・分析することにより、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成する。また、グループワーク形式やケーススタディ型対話授業などのアクティブラーニング型の授業形態を充実するなど、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備する。また、これらの取組の実施だけではなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

（大学院）

- 人文社会科学分野では、グローバルな視点を備え、変動する現代社会の問題及び課題に柔軟に対応できる高度な分析能力と実践的判断力を持つ高度専門職業人・研究者を養成する。
観光学分野では、観光に関する高度な知識を備え、観光事象を理解・分析できる論理的思考能力や実践的に課題を解決できる能力、コミュニケーション力を備えた専門職業人を養成する。
- 今後、ハワイ大学（米国）をはじめとする海外大学と連携した教育活動を推進するなど、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化し、人文社会科学分野、観光学分野における沖縄を中心としたアジア・太平洋地域の教育研究を推進する。

【研究】

- 人文社会科学分野では、グローバルな「人の移動」や「世界のウチナーンチュ」という越境的なネットワークに関する研究、「オキナワン・ソフトパワー」と「平和」の関連性などの学際的な研究に取り組んでいる。
観光学分野では、沖縄の観光イメージや情報の実態を明らかにし、新たな観光開発の在り方の調査研究に取り組むとともに、健康・医療と観光の融合を課題とした行政及び企業との実践的な共同研究を推進している。
- これらの取組を通じて、観光学分野では沖縄の伝統文化とスパを融合したウェルネスプログラム（琉球舞踊フィットネス、沖縄空手アクア）を産業界と共同開発し、地域の文化資源と健康資源の融合による新たな価値の創出につながっている。

- 今後、観光学分野では地域産業のニーズに沿った産官学連携、人文社会科学分野では沖縄及び沖縄に関連する分野の研究を目的とした「国際沖縄研究所」やアジア・太平洋地域をはじめとした海外大学とも連携し、島嶼（とうしょ）、琉球・沖縄、多文化・平和共生に関する学際的・総合的な研究を組織的に推進する。また、沖縄を中心としたアジア・太平洋地域の課題解決、観光産業・社会・文化の発展に貢献することを目指す。

【その他】

- 夜間主コースに勤労学生を含めた社会人を積極的に受け入れており、地域のニーズを踏まえつつ、持続的な社会人の学び直しに取り組むとともに、沖縄県内の企業や経済団体と連携し、実践的・応用的なカリキュラムを構築した社会人向け教育プログラムを実施する。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズ、沖縄県の産業構造の特性等を踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び教育研究組織の在り方、規模等の見直しに取り組む。また、大学院の定員未充足の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。
- 卒業者を含めて、就職を希望する学生への支援の充実を図り、就職率の改善に努める。